

## お も ろ い 民 語 の 歌 詞

—日本民謡—

秋田音頭	P 17	雨が降ったも唐傘などいらぬ 小野小町
会津磐梯山	P 32	おはら庄助さん 何で身上つぶした 朝寝 朝酒 朝湯
岩室甚句	P 47	ナジョが見つけて寄りなれと言うたども
オコサ節	108	チャボ鶏未だ夜は明けぬヨ 明けりやお寺の鐘が
木曽節	156	夏でも寒い —御嶽山・標高 3063m—
串本節	169	ここは串本、向いは大島 仲を取り持つ順子さん (巡航船)
米ぶし	184	分析すれば 88 度の手がかかる 草履 ふめば小判の跡
さんさしぐれ	205	キジの雌鶏チヨチヨと 鶴と亀とが舞い遊ぶ
白浜音頭	228	大島呼べば 島の アンコが出て招く
ソーラン節	271	鯨來たかとカモメに聞けば 波に聞け
丹後の宮津	279	二度と行くまい丹後の宮津 島の財布が空になる
炭坑節	288	あんまり煙突が高いので お月さん煙たかろう
ナット節	339	ソバ蒔いてアワまいてキビまいて ソバ通ってアワなきやキビ悪い
八丈ショメ節	384	沖で見たときや 鬼島と見たが 来て見りやなさけ島
紅花摘唄	406	千歳山から紅花の種まいたよ それで山形花だらけ 金鉢
三崎甚句	439	三崎港に懸けはいらぬ 三味や太鼓で船つなぐ ← 教科書(?)のページ